



### 悪い予想は

先月のローカルニュースに今年は、旧暦で5月閏(うるう)が入るので(旧暦では閏月は同じ月を2度くりかえすので5月が60日数えるので)、後の季節がずれて農作物が不作になることが多い年で、珍事の多い年であると古老に聞いた通りに書いたけれど、悪い予想は当たるものらしく、その後集中豪雨が長期に続いて各地に大きな被害を出してしまった。道内においても最も大事な、7月中旬から8月にかけて日照不足と低温が続いて、稲作は不稔粒が多く豊作、凶作に関係なく肥料、温床、薬剤散布などの諸経費は同じにかかるので、今年はまた借金が増えると農業関係の人達の顔色はさえない。8月に本道で真夏日を記録した所はひとつもなかったといわれるけれど、これも空前のことではないであろうか。新聞では今年はカッコウの声を聞かないとよく書かれたが、毎年お盆の頃になると必ずキリギリスの声を耳にするのに、今夏は聞かない内に9月を迎えてしまった。この頃になると、夜防犯燈などに無数に集まる虫の姿も殆ど見ないで終わりそうである。毎年7月末にはお花を見せてくれるアメリカフヨウも1ヵ月以上遅く9月初めにやっと咲いてくれた。素人眼には9月初旬現在の美唄の水田の稲穂のふくらみの程度は、そんなに悪いように思えないけれど？

(雨田 実記)